

ひとつ胸に

みずき
啓

コロナ下は充電のとき梅三分

いちにちがやわらかくなる梅一輪

梅は葉に骨肉という壊れもの

梅の学園そのそんなに笑って翔べますか

山大笑いピアスの漢おとしこ吐き出して

かけっこの応援団はチュウリップ

花の下ふれあう人の皆やさし

陽炎や本音は胸に伏せたまま

燕くるおしやべり揃いの家の軒

ひとつ胸に点るものあり桜の夜

昨年の会員で九十号にエッセイを投稿いたしました
した次女の長澤奈緒子が、「角川全国俳句大賞」
に入賞しました。

秋遍路お空をふつと抱きしめる

奈緒子